

平成 23 年度第 2 回普及に移す農業技術・試行技術（技術項目及び要約のみ）

番号	技術項目 要 約	担当場・部
1	<b>雑草イネ防除対策マニュアル（暫定版）</b> [要約] 雑草イネの生理生態解説、除草剤による防除、耕種的防除および地域ぐるみの防除対策についてのマニュアル（暫定版）を作成した。	農試作物部・育種部、農業技術課
2	<b>雑草イネの畑転換による防除</b> [要約] 畑条件に発生する雑草イネは大豆、そば、とうもろこしを栽培することで抑制でき、播種時期が遅いほど防除効果が高い。また、各作物のイネ科雑草対象の除草剤処理が有効である。	農試作物部
3	<b>雑草イネの手取り除草における作業効率の向上法</b> [要約] 雑草イネの手取り除草作業を簡易的に行うには、出穂直後から脱粒が始まる時期までに株の地際から刈り捨てる。また、株間を広げて栽植密度を下げることや、「風さやか（信交 526 号）」の作付けは、抜き取り効率の向上効果や異種米混入率の低減効果が得られる。	農試育種部・作物部、農業技術課
4	<b>ぶどう「ナガノパープル」の強樹勢樹に対する主幹部への環状はく皮処理は、果皮色、糖度の向上、裂果の発生軽減に有効である</b> [要約] ぶどう「ナガノパープル」の強樹勢樹に対して、満開 30～35 日後頃に主幹に幅 5mm の環状はく皮を実施することにより、果皮の着色、糖度上昇が早まり、収穫時の果皮色、糖度が向上する。裂果発生も減少する。	果樹試栽培部、農業技術課
5	<b>寒地におけるソラマメの夏秋どり栽培は可能である</b> [要約] 寒地において、そらまめの品種「駒栄」を用い、5 月下旬から 7 月中旬まで直まきすると 7 月～10 月までの連続生産が可能である。	野花試佐久支場
6	<b>全面マルチ用うね内部分施用機は葉菜類（はくさい、キャベツ、レタス）の減肥栽培に利用できる</b> [要約] うね内の定植部周辺に肥料を土壌と混和して帯状の施肥部分を形成する全面マルチ用うね内部分施用機（特許名「畝内帯状攪拌施用機」）を使うと、葉菜類の春まき夏どり作型において減肥効果が高く、30%減肥設定で全面全層施用と同等の収量が得られる。	野花試野菜部・佐久支場
7	<b>ミニトマト「房美人」の房どり収穫法</b> [要約] 「房美人」は果房内の果実の成熟集中性、品質の均一性および房どり収穫適性が優れる。房どり収穫のための房作り法は、着果確認時に先端を切除し、果房当たり 15 果程度に制限するのがよい。	野花試育種部
8	<b>ストックの秋作型におけるアイアン系品種の開花促進に電照が有効である</b> [要約] スtockの秋作型ではアイアン系品種に対して定植後に白熱球もしくは遠赤色 LED による長日処理を行うことで開花が早まり、収穫までの期間を短縮することが可能である。	野花試花き部
9	<b>乳用育成牛における性判別凍結精液使用時の人工授精適期の指標</b> [要約] 乳用育成牛（ホルスタイン種）に性判別凍結精液を発情開始から 15～21 時間後に人工授精を行うと、4～15 時間後または 21～24 時間後と比較して受胎率が向上する。	畜試酪農肉用牛部
10	<b>搾乳時の乳頭清拭に清浄布タオルを用いると除菌効果が高い</b> [要約] 搾乳時の乳頭清拭において、塩素系アルカリ洗剤で洗濯した清浄布タオルを用いると、ペーパータオルに比べて除菌効果が高く、2 回清拭法により安定した高い除菌効果が得られる。	畜試酪農肉用牛部

番号	技術項目 要約	担当場・部
11	<b>肉用牛にTDN自給率を高めた発酵TMRを給与すると慣行給与と同程度の肥育成績が得られる</b> 〔要約〕肉用牛にとうもろこしサイレージおよびビール粕を主原料とした発酵TMRを給与すると慣行給与と同程度の肥育成績が得られ、TDN自給率は大幅に向上する。	畜試酪農肉用牛部
12	<b>発酵品質が良好なライムギおよびスーダン型ソルガムサイレージを調整するための改良フレール型コンバインペーラーの利用法</b> 〔要約〕改良フレール型コンバインペーラー（YWH1500）はライムギおよびスーダン型ソルガムの収穫、調製に利用できる。本収穫機で調製したサイレージはモーアコンディショナ、ロールペーラー体系で調製したサイレージと比較して乳酸含量が高く、V-Scoreも高い。	畜試飼料環境部
13	<b>アスパラガス茎枯病の耕種的防除として大型バーナーによる畦面焼却が有効である</b> 〔要約〕晩秋期の茎葉刈り取り後または早春期の萌芽前に、罹病残さや残茎が滅菌されるように大型バーナーで畦面を焼却すると、茎枯病の発病を低減できる。晩秋期処理と早春期処理では同等の防除効果がある。	野花試野菜部・環境部
14	<b>ポリエチレン製ネットと電気柵を立体的に組み合わせた安価な電気柵で多獣種の侵入防止ができる</b> 〔要約〕ポリエチレン製ネットと電気柵を立体的に組み合わせた安価な電気柵（長野式電気柵）でニホンザル、イノシシ、ニホンジカ、中型獣の侵入防止ができる。	農試企画経営部
15	<b>ポリエチレン製ネットと電気柵の組み合わせによるニホンジカ侵入防止技術</b> 〔要約〕1m幅のポリエチレン製ネットを地上高50cmに張り、その外側10cm、地上高30cmに電気柵1段または、地上高15cmと45cmに電気柵2段を設置することでニホンジカの侵入を防ぐことができる。	農試企画経営部

※普及に移す農業技術のうち試行技術は、農業関係試験場で育成、開発又は実証され、農業発展に寄与する技術及び情報のうち普及技術とするにはまだ未解決の部分があって適当でないもの、おおむね生産技術の向上に役立ち、試行する価値があるものです。

毎年、10月と2月に普及技術検討会で審査され、公表されます。試行技術の詳細については、お近くの農業改良普及センターへお問い合わせください。

#### 農業改良普及センター一覧

普及センター名	所在地	電話番号
佐久農業改良普及センター	佐久市大字跡部 65-1 佐久合同庁舎内	0267-63-3146
上小農業改良普及センター	上田市材木町 1-2-6 上田合同庁舎内	0268-25-7157
諏訪農業改良普及センター	諏訪市川上 1-1644-10 諏訪合同庁舎内	0266-57-2932
上伊那農業改良普及センター	伊那市大字伊那 3497 伊那合同庁舎内	0265-76-6842
下伊那農業改良普及センター	飯田市追手町 2-678 飯田合同庁舎内	0265-53-0436
木曾農業改良普及センター	木曾郡木曾町福島 2757-1 木曾合同庁舎内	0264-25-2230
松本農業改良普及センター	松本市大字島立 1020 松本合同庁舎内	0263-40-1947
北安曇農業改良普及センター	大町市大字大町 1058-2 大町合同庁舎内	0261-23-6543
長野農業改良普及センター	長野市大字南長野南県町 686-1 長野合同庁舎内	026-234-9534
北信農業改良普及センター	中野市大字壁田 955 北信合同庁舎内	0269-23-0221